



古伊賀水指 銘 破袋 桃山時代(重要文化財) 五島美術館蔵



伊賀水指 銘 慾袋 川喜田半泥子 石水博物館蔵

没後50年記念
特別展

Handeishi Kawakita

川喜田半泥子が みた名品

2013年

10月4日[金] — 11月24日[日]

開館時間=10時~17時(入館は16時30分まで)

休館日=月曜日

(祝日の場合は翌日:10月14日(月・祝)は開館、翌15日(火)は休館、11月4日(月・祝)は開館、翌5日(火)は休館)

入館料=一般500円[400円] / 学生300円(高校生以上)

※[]内は20名様以上の団体料金

協賛企業(順不同)=株式会社 百五銀行、
三重トヨベツ株式会社、株式会社 ちとせ、
株式会社ZTV、三重テレビ放送株式会社



割高台茶碗 朝鮮王朝時代
畠山記念館蔵



高麗手茶碗 銘 雅茶子
川喜田半泥子 石水博物館蔵

公益財団法人

石水博物館

<http://www.sekisui-museum.or.jp>

〒514-0821 三重県津市垂水3032番地18

【TEL】059-227-5677 【FAX】059-213-5789



芸術文化振興基金助成事業

没後50年記念
特別展

Handeishi Kawakita

川喜田半泥子がみた名品

近代化のうねりの中にあつた財界において、銀行家、実業家としての本業を全うする一方、陶芸他あらゆる趣味を持ち、趣味人としても稀有な足跡をのこした川喜田半泥子(1878~1963)。本年は半泥子の没後50年にあたります。半泥子ゆかりの石水博物館ではこの節目を記念し、彼が愛した茶道具や絵画の名品と、それらに着想を得た半泥子作品を一堂に展覧いたします。半泥子芸術の根底にあるものと、半泥子が昭和の世に生み出した独自の世界をお楽しみください。



1.



2.



3.



4.



5.



6.

1. 赤楽茶碗 銘 勾当 長次郎 桃山時代 滴翠美術館蔵
2. 志野茶碗 銘 保己一 川喜田半泥子 個人蔵
3. 絵唐津丸十文茶碗 桃山時代 出光美術館蔵
4. 絵唐津写丸十文茶碗 川喜田半泥子 出光美術館蔵
5. 伊賀花入(破袋写) 川喜田半泥子 個人蔵
6. 伊賀水指(破袋写) 川喜田半泥子 個人蔵
7. 龍虎画賛 仙厓筆 江戸時代 出光美術館蔵
※展示期間…龍図 10月4日(金)~11月4日(月・祝)
虎図 10月24日(木)~11月24日(日)
8. 虎図 川喜田半泥子筆 個人蔵
9. 龍図 川喜田半泥子筆 個人蔵



7.



8.



9.

記念講演会

半泥子とその時代 —最後の数寄者たち—

- 講 師 熊倉功夫氏(静岡文化芸術大学 学長)
- 日 時 2013年10月27日(日) 14時~15時30分(13時30分開場)
- 場 所 三重県立美術館 講堂(津市大谷町11)
- 事前申し込み 石水博物館まで電話にて(電話:059-227-5677)
- 定 員 申し込み先着150名様 ※聴講無料

紅梅閣ツアー

半泥子が建立した千歳山山頂の「紅梅閣」へご案内します。

- 日 時 10月9日(水)、23日(水)、11月6日(水)、20日(水)の14時から1時間程度
- 申し込み 不要。当日14時までに石水博物館受付前へお越しください。
- ※雨天の場合は中止し、学芸員が展覧会場をご案内します。
- ※山道を歩きます。歩きやすい靴、服装でご参加ください。
- ※参加費は不要ですが、当日の入館料が必要です。

ギャラリートーク

学芸員が展覧会場で見どころを紹介します。

- 日 時 10月4日(金)、18日(金)、11月1日(金)、15日(金)の14時から30分程度
- 申し込み 不要。当日14時までに石水博物館受付前へお越しください。
- ※参加費は不要ですが、当日の入館料が必要です。

次回展覧会

石水所蔵名品展 — 絵画を中心に —
11月29日(金)~2014年2月2日(日) (年末年始休館あり)

展示替え休館 11月25日(月)~28日(木)



交通アクセス

- JR・近鉄津駅東口より三重交通バス(久居駅方面行)にて15分、「青谷口」下車徒歩8分
- 近鉄久居駅西口より三重交通バス(津駅方面行)にて10分「青谷口」下車徒歩8分
- JR阿漕駅より徒歩12分
- お車をご利用の方

【津市街から】国道23号線「大倉」の交差点を県道776号線(久居方面)へ。JRの踏切を越え、約200m先岩田池手前の細い道(角に緑の看板あり)を左折、約300m先左側。(駐車場15台)

公益財団法人 石水博物館

<http://www.sekisui-museum.or.jp>

〒514-0821 三重県津市垂水3032番地18

【TEL】059-227-5677 【FAX】059-213-5789

没後50年記念特別展
川喜田半泥子がみた名品
 平成25年10月4日(金)～11月24日(日)

出品目録

第1展示室

番号	作品名	時代・作者	所蔵者	展示期間・備考
I 半泥子憧れの名品一本歌と写し				
1	古伊賀水指 銘 破袋	桃山時代	五島美術館	重要文化財
2	伊賀水指 銘 慾袋	川喜田半泥子	石水博物館	
3	伊賀花入	川喜田半泥子	個人	
4	伊賀水指	川喜田半泥子	個人	
参考1	伊賀花入添状	川喜田半泥子筆	個人	
参考2	伊賀花入礼状	梶島一藻筆	石水博物館	
参考3	伊賀水指礼状	金重陶陽筆	石水博物館	
5	割高台茶碗	朝鮮王朝時代	畠山記念館	
6	高麗手茶碗 銘 雅茶子	川喜田半泥子	石水博物館	
7	絵唐津丸十文茶碗	桃山時代	出光美術館	
8	絵唐津写丸十文茶碗	川喜田半泥子	出光美術館	
9	赤楽茶碗 銘 勾当	長次郎	滴翠美術館	
10	志野茶碗 銘 保己一	川喜田半泥子	個人	
11	赤楽筒茶碗 銘 さび柿	伝 本阿弥光悦	個人	
12	志野茶碗 銘 蛾眉峯	川喜田半泥子	個人	
13	絵高麗 鉄絵梅鉢文平茶碗	明時代	野村美術館	
14	粉引茶碗 銘 ささがに	川喜田半泥子	個人	
15	南蛮縄簾写水指	川喜田半泥子	個人	
16	龍虎画賛 双幅のうち 龍図	仙厓筆	出光美術館	10月4日～11月4日
16	龍虎画賛 双幅のうち 虎図	仙厓筆	出光美術館	10月24日～11月24日
17	龍虎図屏風 二曲一隻	川喜田半泥子筆	個人	
18	龍図	川喜田半泥子筆	個人	
19	虎図	川喜田半泥子筆	個人	
20	墓画賛	仙厓筆	出光美術館	10月24日～11月24日
21	千歳山の墓図	川喜田半泥子筆	石水博物館	
II 半泥子の愛蔵品				
22	古伊賀水指 銘 鬼の首	桃山時代	石水博物館	三重県指定文化財
23	井戸茶碗 銘 紅葉山	朝鮮王朝時代	石水博物館	
24	黒織部茶碗 銘 暫	江戸時代	石水博物館	
25	古瀬戸水指	桃山時代	石水博物館	
26	黒釉やんぼ	伝 尾形乾山	石水博物館	
27	赤楽茶碗 銘 松韻	伝 本阿弥光悦	石水博物館	

第2展示室

III 半泥子の挑戦—新たな境地へ—				
28	井戸手茶碗 銘 雨後夕陽	川喜田半泥子	石水博物館	
29	井戸手茶碗 銘 大々名	川喜田半泥子	個人	
30	井戸手茶碗 銘 渚	川喜田半泥子	個人	
31	御所丸風茶碗	川喜田半泥子	石水博物館	11月12日～11月24日
32	刷毛目茶碗 銘 一声	川喜田半泥子	石水博物館	10月4日～11月10日
33	刷毛目茶碗 銘 かりほのいほ	川喜田半泥子	個人	
34	粉引茶碗 銘 雪の曙	川喜田半泥子	石水博物館	10月4日～11月10日
35	粉引茶碗 銘 わすれな艸	川喜田半泥子	個人	

36	粉引手茶碗 銘 夕立	川喜田半泥子	石水博物館	11月12日～11月24日
37	瀬戸黒茶碗 銘 松ヶ根	川喜田半泥子	個人	
38	織部黒茶碗 銘 暗香	川喜田半泥子	石水博物館	
39	黒織部茶碗 銘 富貴	川喜田半泥子	個人	
40	志野茶碗 銘 不動	川喜田半泥子	石水博物館	
41	志野茶碗 銘 赤不動	川喜田半泥子	東京国立近代美術館	11月19日～11月24日
42	鼠志野茶碗 銘 ートめぐり	川喜田半泥子	石水博物館	10月4日～11月17日
43	唐津手茶碗 銘 薄氷	川喜田半泥子	石水博物館	
44	伊賀水指	川喜田半泥子	石水博物館	
45	伊賀水指 銘 飛濤	川喜田半泥子	個人	
46	瀬戸水指	川喜田半泥子	石水博物館	
47	黒釉やんぼ	川喜田半泥子	個人	
48	黒茶碗 銘 すず虫	川喜田半泥子	個人	
49	赤楽茶碗 銘 障子	川喜田半泥子	個人	
50	黒茶碗 銘 三保の夜	川喜田半泥子	石水博物館	
51	赤楽大茶碗 銘 閑く恋慕	川喜田半泥子	石水博物館	
52	粉引茶碗 銘 たつた川	川喜田半泥子	石水博物館	
53	赤絵紅葉水指	川喜田半泥子	石水博物館	
54	灰釉茶碗 銘 これはしたり	川喜田半泥子	個人	
55	志野茶碗 銘 おらが秋	川喜田半泥子	石水博物館	
56	大侘び茶碗 銘 残月	川喜田半泥子	個人	
57	大侘び茶碗 銘 大吹雪	川喜田半泥子	個人	
58	無茶	川喜田半泥子筆	個人	
59	苦茶	川喜田半泥子筆	石水博物館	
60	茶碗図	川喜田半泥子筆	個人	

※展示作品、展示期間が変更になる場合があります。